

1 単元名 第二次世界大戦と日本

2 単元について

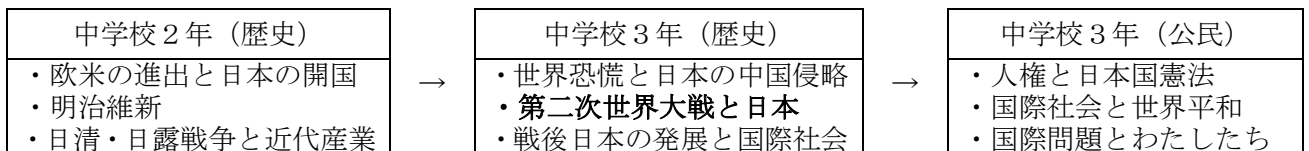
(1) 単元観

本単元は、学習指導要領、歴史的分野の内容「(5)近代の日本と世界」の中項目「カ 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを通して、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。」を受けたものである。ここでは、第二次世界大戦の原因から終結までのあらましを欧米諸国の動きやアジア諸国との関係に着目させて理解させ、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことに気付かせることをねらいとしている。

特に「戦時下の国民の生活」については、身近な地域の事例を取り上げるなどして、戦時体制下で国民の生活がどう変わったかに着目させ、平和な生活を築くことの大切さに気付かせたい。そのためには、生徒の五感に訴えるような資料を活用することが重要だと考える。歴史上の出来事を、より身近なものとして実感させ、現代と過去をつなぎ、興味・関心を高めさせることで、その時代の人々の生活や考えを多面的・多角的に捉えさせたい。そして、戦争時代に生きた人々の想いや、これからの社会の形成者としての自覚を考えられるような学習にしていきたい。

本単元の指導を通し、歴史上の人々の考え・生活・出来事から学びとり、現代の社会に活かしていこうとする態度をもたせたい。そうすることで、本校の研究主題にもある「生徒一人ひとりの人間力の向上」につながるものとする。

(2) 指導内容の系統



3 生徒の実態について (〇〇名)

(1) 学級集団の実態

本学級は、明るく積極的にわからないところを質問したり、意見を発表したりする生徒と、おとなしく消極的で自ら発表することなどはできない生徒とに大別される。社会科の授業に対する興味・関心は高く、定期テストなどでも、社会科としての正答率は他教科と比較して高くなっている。

(2) 単元に関わる実態

・調査結果 調査人数：〇〇名 調査実施日：4月26日

- ① 歴史の授業に興味・関心があるか。
 ある(〇〇) ない(〇〇)
- ② のために歴史を学ぶのか。
 歴史を知る(〇〇) 歴史から現在やこれからのを考える(〇〇) テスト(〇〇) その他(〇〇)
- ③ 料を活用することができるか。
 むずかしい(〇〇) できる(〇〇)

- ④ どのような資料があると良いと思うか。
風刺画・絵・写真(〇〇) 映像(〇〇) 現物・触れるもの(〇〇)
- ⑤ 時下の様子で知っていること。
集団疎開(〇〇) 配給制(〇〇) 徴兵制(〇〇) 長期化(〇〇) 勤労働員(〇〇) 総力戦(〇〇)
学徒出陣(〇〇)
- ⑥ 戦時下の茂原市の様子で知っていることは。
知らない(〇〇) 掩体壕がある(〇〇) 防空壕があった(〇〇) 東京から灰が飛んできた(〇〇)
茂原は安心安全で無事(〇〇)

・考察

歴史的分野に対する興味・関心は比較的高いといえる。しかし、「何のために歴史を学ぶのか」の問いに対し、「歴史を知る」が一番多く約半数を占め、「歴史から現在やこれからのを考える」という回答を上回っている。知識としてだけの学習ではなく、温故知新の考え同様に、先人の生き方から学び、これからの生き方を考えるような授業を展開していく必要があると感じる。

資料の活用に関しては、苦手意識を持っている生徒が多く、資料そのものに対する興味・関心も低い。映像教材や現物・触れるものなど、五感に訴えるような資料を工夫することで、より深く読み取ることができるよう促したい。

戦時下の様子については、「学徒出陣」がわからなかった生徒が〇〇名、また、戦時下の茂原市の様子について「知らない」と答えた生徒が〇〇名と、当時の同年代にあたる学生や、身近な地域の歴史認識について理解が不十分である現状がうかがえる。茂原市郷土資料館や教材開発センターの協力を得て、身近な地域の歴史に迫っていきたい。

4 単元の目標

- (1) 第二次世界大戦の始まりから終結までの日本の歴史のあらましと、世界の動きを意欲的に追究し、発表することができる。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動きを通して、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。(社会的な思考・判断・表現)
- (3) 第二次世界大戦の終結までの日本の歴史のあらましと世界の動きを、様々な資料からその事実を読み取り、わかりやすくまとめることができる。(資料活用の技能)
- (4) 日本の経済の混乱と軍部の台頭から戦争までの経過を、世界の動きと関連させて理解するとともに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことに気付くことができる。(社会的事象についての知識・理解)

5 指導計画(6時間扱い 本時は3時間目)

時間	学習内容	支援及び指導上の留意点	評価規準(観点)
1	第二次世界大戦の始まり	「アンネの日記」や「戦場のピアニスト」などの具体的な映像資料を活用し、ヨーロッパの様子を捉えさせる。	三国同盟を結んだ日本について、国際的な視野を踏まえて自分の意見を述べるができる。(思考・判断・表現)
1	太平洋戦争の開始	「大東亜共栄圏」に関して、日本が資源を東南アジアに依存していたことを捉えさせる。	戦争に対して、資源や国力の差について、具体的な資料をもとに考えることができる。(技能)
1 本時	戦時下の人々	なぜ被害が大きかったのか、また、なぜ民間人が多かったのか考えさせる。	戦争と国民について関心をもち、自分の意見を述べるができる。(思考・判断・表現)
1	戦争の終結	早期終結のねらいや、ソ連の対日参戦との関連について説明する。これまでの学習を国際的な視野から振り返らせる。	伊・独の降伏、沖縄戦、原爆投下などの戦争終結までの概要を説明することができる。(知識・理解)
1	パレスチナ問題の歴史	WW1やWW2との関連を踏まえてそのつながりを理解させる。	列強の利害の中で生じた問題について関心もち、発表できる。(関意・態)
1	すべての子どもに教育を	公民的分野・道徳・特活との関連を意識し、現代の福祉に課題意識を持たせる。	現代の福祉政策について関心を持ち、調べることができる。(関心・意欲・態度)

6 本時の指導

(1) 目標

資料をもとに戦時下の日本・茂原市の様子を読み取ることで、戦争の持つ意味を問い直し、戦争に対する自分の考えをもつことができる。 (関心・意欲・態度)

(2) 展開

学習活動と内容	時配 形態	指導上の留意点	評価 (方法)
<p>1 学徒出陣・勤労動員・集団疎開・子ども向けの雑誌などの資料を見て、読み取れることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い, 学生, 子ども ・兵隊をめざしている ・女子も活躍している <p style="text-align: center;">↓</p> <p>なぜ, 学生までが戦場に駆り出されたのか考える。</p>	5分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真資料から気づいたことを多く発表させる。 ○ 大人だけでなく, 若い世代も何かしらの役割があり, 参加していることに着目させる。 	
<p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>戦争が長期化する中, 国民はどんな生活をしていたのだろうか。</p> </div>	5分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総力戦としての戦争が長期化することで, 国民の動員が強められていったことを捉えさせる。 ○ 戦時中の様々な資料から, 当時の国民の生活の様子を調べようとする課題を出させる。 	
<p>3 当時の資料から, 戦時下の国民の様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米が貴重なもの ・食べ物がなかった ・苦しい生活にたえ, 戦争に協力 	10分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当時の様子を五感で感じ取れるような資料・教材を提示し, 肌で学び取れるような活動にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・すいとん ・さつまいも ・もんぺ など 	戦中の資料から, 当時の様子, 時代背景を読み取ることができる。(発表・ノート)
<p>4 茂原市の戦争についての, 動画や画像をみて, 感じたことをプリントに記入する。</p>	10分 個人	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域の歴史として, 茂原市にも戦争のつめあとがあることを, 掩体壕などを中心に捉えさせる。 	
<p>5 WW1との死者数を比較し, 被害の大きさを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ被害が大きかったのか ・なぜ民間人が多かったのか 	5分 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ○ WW1と比較させることで, 考えを深めさせるようにする。 ○ グラフ・表の読み取り方について説明する。 	
<p>6 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の長期化から学生も参加, 国民の生活が破綻。 ・当時の様子から感じたことをまとめる。 	10分 個人 ↓ 班	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を振り返る。「戦争」についての自分の考えをもてるように助言する。 ○ 被害だけでなく, 加害者としての側面もおさえる。 	戦争の持つ意味を問い直し, 自分の考えをもつことができる。(発表・ノート)